

経営比較分析表（令和6年度決算）

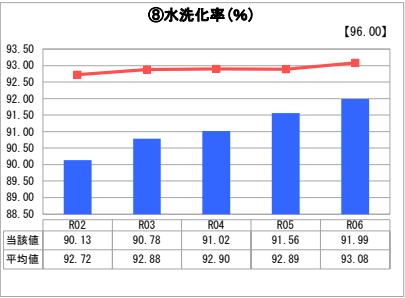
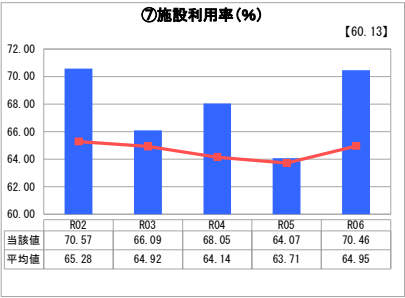
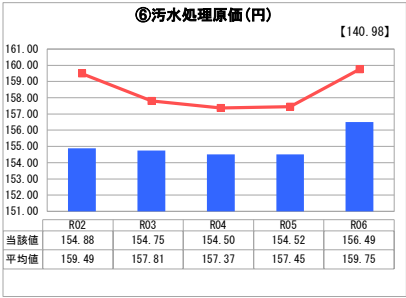
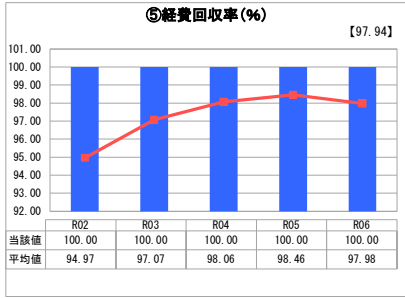
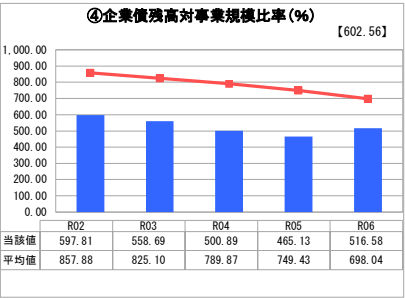
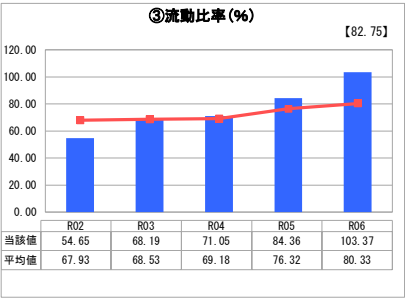
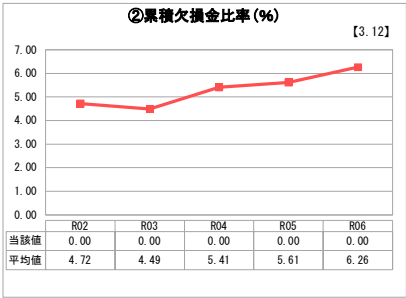
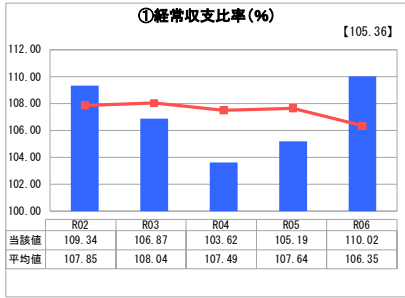
群馬県 館林市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.56	48.95	61.23	2,970

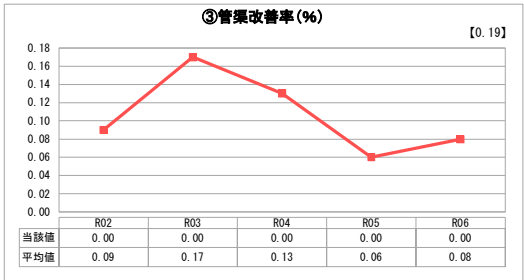
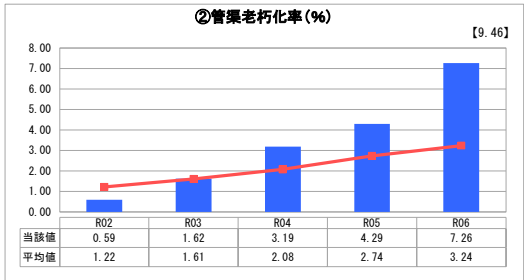
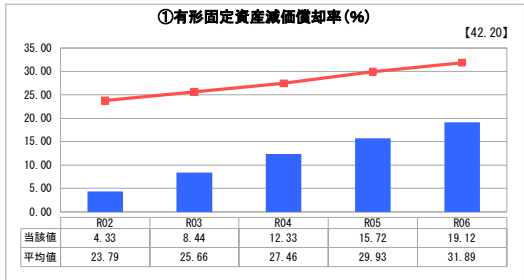
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,667	60.97	1,208.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
35,895	8.80	4,078.98

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%を超えているが、これは、一般会計からの繰入金によるものであるため、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
- ②累積欠損金比率は発生していない。
- ③流動比率は前年度よりも改善し、平均値を上回っている。引き続き、現預金の確保に努める。
- ④企業価値高対事業規模比率は前年度から増加しているものの、平均値を下回っていることから、引き続き事業規模に見合った借入に努める。
- ⑤経費回収率は100%となっているが、今後使用料収入が減少することが見込まれるため、接続促進による使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
- ⑥汚水処理原価は平均値を下回っているが、経営改善のためにさらなる汚水処理費の削減が必要となる。
- ⑦施設利用率は平均値を上回っている。未整備地区が存在するため、整備が進むにつれて増加する見込みとなっている。
- ⑧水洗化率は100%に達しておらず、引き続き未接続世帯への接続促進に努める。

以上の分析から、公共下水道事業の経営改善のためには、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。

2. 老朽化の状況について

本市の公共下水道施設は昭和49年に供用開始しており、老朽化に伴い更新のための費用が年々増加している。
管渠においても、②管渠老朽化率が前年度よりも上昇しており、今後も増えていくことが想定されることから、管路施設の調査診断を実施している。今後、調査結果を基に、計画的な管路施設の更新を行っていく。

全体総括

本市の公共下水道事業は、令和2年度より地方公営企業法の財務規定等を適用している。
使用料収入だけでは経営を維持することが困難であるため、一般会計からの繰入金（基準外）を頼りにしている状況である。
下水道の整備もまだ完了していない地区があることから、計画的な整備を行い、水洗化率の向上、使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減を行う必要がある。
さらに、老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれることから、ストックマネジメント計画及び経営戦略を考慮し、計画的な更新を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。